

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup>煌めけ生徒！！



# とらのき

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより

第8号

平成30年12月5日

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

## 携帯（デジタル）から新聞（アナログ）へ

校長 大神田 佳明

先日、立川市の児童・生徒の「携帯電話などの利用状況に関するアンケート調査」の集計結果が市教委より示されました。中学校では約90%以上の生徒が自分の携帯または家族の携帯電話を所持していることが分かりました。また、使用時間は1日に2時間以上使用している生徒の割合が42%と平成28年と比較して10%以上長くなっています。使用時間が長くなっている要因としては、SNSやオンラインゲーム、インターネット等に時間をかけていることが一因と推察できます。この傾向は、今後も増加していくことになると考えられます。仮に、毎日2時間使用すると1年間で約730時間となり、中学校3年生の国語、社会、数学、理科、英語の年間授業時数合計665時間より多い計算になります。

携帯電話を使うことによるメリットも多いですが、反面では全国で93万人の中高生がネット依存の疑いがあるなど、深刻な調査結果も報告されています。（H30年度厚生労働省）ネット依存は、インターネットやオンラインゲーム、SNSなどを使いすぎる状態で、朝起きられない、昼夜逆転、食事をしない、睡眠不足などの日常生活に支障がでる他、暴力や引きこもり、うつ病などの合併症を引き起こす恐れもあります。ぜひ、ご家庭では「SNS家庭ルール」をつくり、健全な携帯電話等の使用ができるようお願いいたします。

一方では、生徒が読書や新聞を読む時間が年々少なくなっている傾向があります。4月に実施した全国・学力学習状況調査の生徒質問で、「新聞を読んでいますか？」という内容では、本校の生徒は週に1回以上読んでいる生徒の割合は10%で、全国平均でも14%程度であることが分かりました。

また、同調査によると小学校6年の算数B問題では、新聞を読む群ほど成績良好の割合が高いという相関関係があり、継続的に新聞を読むことで、文章を正確に読み解く力や、問を正確に理解する力が付いたことで、算数の正答率も高くなったと推測できます。新聞や書籍には、読解力を育み、社会への興味・関心が高まるとともに、自分の考えをもつことなど、これからの社会で必要な資質・能力の育成につながります。さらに、インターネット上の様々な情報と比べて、信頼度が高い情報に触れることができます。

立川七中では、新聞を活用したNIE（Newspaper in Education）教育に長年取り組んでいます。朝の「とちの葉タイム」では、新聞記事等を活用して長文や美文に触れ、新聞記事を読んで文章を要約したり、感想や意見を書いたりすることにより、読解力や思考力・判断力・表現力等が身に付き、本校の研究主題である「自分の考えをもち、表現できる生徒の育成」につながっています。職員室前の廊下には、全国紙、地方紙など5社の新聞をいつでも読めるように置いていますので、新聞の記事や興味のある連載などを読んでください。さらに、平成15年度から続いている「投稿チャレンジ」では、平成30年11月現在、1,200名以上の生徒の投稿が新聞に掲載されています。ぜひ、今後も自分の意見や考えを積極的に発信してください。

## 第10回中学生「東京駅伝」結団式

平成31年2月3日（日）調布市のアミノバイタルフィールドで開催される、第10回中学生東京駅伝の立川市選手団の結団式が11月28日に立川市役所で開催されました。選考会で選ばれた男女各21名に認定証が授与された後、清水市長から選手に激励の言葉をいただきました。また、今年度は立飛ホールディング様から選手に、シューズ、ユニフォーム、ウインドブレーカー等を選手に寄贈していただきました。結団式では、社長の村山正道様から代表選手にシューズ等を贈呈していただきました。七中からは、男子は小原海都くん、女子は高橋結衣さんが立川の櫂をつなぎます。ぜひ、これらから立川のチームの生徒たちと一緒に切磋琢磨して、昨年よりステップアップすることを期待しています。多くの皆様の応援をお願いいたします。





## 国際理解体験学習 ～ 2年生、横田ミドルスクール来校

今年度も、横田基地のミドルスクールの生徒が七中に来校し、2年生と国際理解体験学習を行いました。

11月30日(金)に、約30名の生徒が来校、七中の2年生と一緒に英語や体育の授業を行い、給食をとりました。「なんて話しかけたらいいの?」と最初は戸惑っていた七中生でしたが、徐々に自分から挨拶や会話をしようとし、最後は積極的に話しかけ、昼食後には、短い訪問を惜しみつつ別れを交わす姿も見受けられました。外国語でコミュニケーションをとる楽しさと難しさを学んだ今回の体験学習。今後の英語に対する学習意欲の高まりや、異文化を理解するきっかけになることを期待します。

## 弁護士によるいじめ防止授業

11月27日(火)、2年生の道徳で、いじめ防止授業が行われました。弁護士の高橋郁子先生をお招きし、映像資料をもとに説明をいただきました。

弁護士の仕事内容、いじめと人権の話から始まり、「生きジゴクになっちゃうよ」と遺書を残して自ら命を断った、中学2年生の鹿川裕史くんの事件について教えていただき、「許されるいじめは一切ない」「いじめられて仕方ない子はいない」ことを改めて学びました。また、いじめを止めるための具体的な対処法を、ドラえもんの登場人物の例からわかりやすく学ぶことができました。



## 立川市中学生サミット



12月1日(土)立川市役所で中学生サミットが開催され、市内の中学校生徒会役員代表43名が集まり、意見交換を行いました。七中からは、矢野想介会長、友野凜太

郎副会長、中嶋雪乃副会長、本田あおは書記、森菜々子書記の5名が出席しました。オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み、SNSの使用について、10年後の立川市について、の3つのテーマのもと、活発なグループ討議と発表が行われました。

## 高校の先生の話聞く会

11月30日(金)、2学年では、進路指導の一環として都立国分寺高等学校から森勇二先生を講師としてお迎えし、お話をいただきました。先生は、ご自身の高校・大学時代の経験談や高等学校の先生になってからの部活指導や生活指導などを、ユーモアを交えながら話してくださいました。

一貫して「ポジティブ・シンキング」の大切さを訴えてくださり、生徒にとってこれからの進路や生き方を考えていく上で大変有意義な時間となりました。

### 避難訓練

11月22日(木)に、発煙筒を使用した避難訓練が行われました。廊下や教室が真っ白になり、視界がふさがれる中での避難訓練でしたが、皆落ち着いて行動することができました。火災時は、実際にこのような状況になることを身をもって体験できた、貴重な機会となりました。

### 【生徒活動の記録】～七中生、頑張っています!

●薬物防止乱用標語

【会長特別賞】

2年 佐藤 彌都希さん 「強い意志 断る勇氣 大切に」

【佳作】

1年 荒井 洋人くん「断ろう 危険ドラッグ ダメゼットイ」

●教育委員会表彰

3年 脇川 颯太くん(水泳関東大会 100m背泳ぎ 5位)

1年 高原 一希くん(陸上関東大会 1年生走り幅跳び 1位)

●税の作文

【立川市長賞】

3年 筒井 ゆり乃さん 「私たちの未来」

## 牛乳パックくるくる絵本 <3学年家庭分野> ～ 2階通路に展示

3年生の家庭分野の「幼児の生活と遊び」の単元の学習として、牛乳パックを利用した「くるくる絵本」の作成に取り組みました。牛乳パックを二つつなぎ合わせて作ったもので、くるくる回しながら見ると6ページ分の創作絵本が次々に飛び出していきます。南校舎と北校舎の間の2階通路に展示されています。まだ、ご覧になっていない保護者や地域の皆様、本校にお越しになった際には、ぜひ、ご覧になってください。